



ごあいさつ



皆様こんにちは。

寒くなりましたが、お身体の具合はいかがでしょう？

風邪やインフルエンザが流行する時期になってきます。

手洗い、うがいはもちろんですが、なるべく身体を温かい状態にしてお休みになることをオススメします。

私は今、柚子風呂にはまっています。柚子風呂に入るととても身体が温まり、香りで心も癒されます。

是非皆様もお試し下さい。心も体も温まりますよ♡

さて、この度、市政報告を皆様へお届けしたく、今までの活動や市政の仕組み、

皆様から頂いたお問い合わせなどについて執筆いたしました。

ご一読頂ければ幸いです。しばらくお付き合い下さいませ。



西宮市議会議員 上谷幸美(かみたにゆみ)



健康福祉常任委員会の委員長を務めました！

平 成29年度は、健康福祉常任委員会の委員長をさせて頂きました。

議員生活3年目、初めての委員長ということで、副委員長や委員の皆様、書記の皆様には本当にご不便をおかけしたかと思いますが、皆様のご協力、ご指導のお陰で、精一杯務めることができました。

施策研究テーマは、「障害を理解するための具体的施策について」としました。

現在、障害者差別解消法の条例を制定する動きが盛んになってきております。障害者差別解消法の第15条に「国及び地方公共団体は、障害を理由とする差別の解消について国民の関心と理解を深めるとともに、特に、障害を理由とする差別の解消を妨げている諸要因の解消を図るため、必要な啓発活動を行うものとする」と規定されており、啓発活動は、条例を制定すると同時に進めなければならない大切なことです。

この委員会の視察で勉強させて頂いたのが、「あいサポート運動」です。

鳥取県産祥のあいサポート運動は、子供から大人まで幅広い世代の方々に、様々な障害をわかりやすく理解することができます。障害とは、決して他人事ではございません。生まれ持った障害だけでなく、外傷や、疾病などにより、後発的、偶発的に障害者となられる方も多数存在します。もしかすると、私も、皆様もいつ、どのような形で障害のある生活になるかも分かりません。

他人事ではないということを常に意識し、市民全体で理解を深めていくことが大切だと感じています。

ぜひ西宮市でもこれに類似するような啓発活動を進めて頂けるよう、一般質問でも取り上げ、西宮市に強く提言致しました。今後の早期実現に期待です！



◎プロフィール

昭和48年(1973年)10月1日生まれ。西宮市立山口小学校、山口中学校卒業。

川崎医科大学付属高校、川崎医科大学卒業。

医師免許取得、現在は高田上谷病院副理事長。平成27年4月、前市議会議員である上谷幸彦(7期連続当選、西宮市議会議員長などの要職を歴任)の想いを継承し初当選(現在1期目)。

平成28年4月、上谷学園 幸幼稚園理事長就任。

日本舞踊 音羽流 名取 音羽菊美弥幸

発行：西宮市議会議員 上谷幸美

連絡先：かみたにゆみ事務所

◎上山口事務所 〒652-1421 西宮市山口町上山口4丁目5-12

◎下山口事務所 〒651-1412 西宮市山口町下山口5丁目3-7

TEL:078-903-0246 FAX:078-903-0238

MAIL:kamitaniyumi@gmail.com

HP:http://www.kamitaniyumi.com

一般質問をすることで、市政をより良い方向へ!



私たち市議会議員には「一般質問」という形で、西宮市に政策提言を行う機会がございます。

「質問」と言っても、「西宮市の行政運営にかかる人件費はいくらですか?」というように、事実確認だけを行うのではなく、「西宮市の行政運営に関して、人件費比率が高い状況です。これを〇〇という方法で減らすべきだと考えますが、市の見解をお聞かせ下さい。」といったように、**提案型の質問をすることが市議会議員としての腕の見せどころだと、私は感じています。**

提案の内容も、西宮市全域に関するものから、私が生まれ育った北部地域の課題まで実に様々です。扱う分野も、教育や福祉、防災や交通など、市が行っている事業すべてが対象になってきます。

また、質問と答弁を記録と

してしっかり残すことも重要です。議事録

を証拠とすることで「〇〇すると言った!」「イヤ、言っていない!」

という不毛な議論を避け、**未来に対して責任を持った政策推進が約束されるのです。**一般質問のヒントは、市役所で資料を読んでいて気づくことや、医

師として働きながら日々感じていること、そして、市民の皆様との何気ない会話から得られる情報など、日常のいろいろな場面で得ることができます。

一般質問は、西宮市議会のホームページで動画を視聴することもできますし、インターネットで議事録を閲覧することも可能です。

是非、皆様のご意見をお聞かせ下さい!

上谷幸美の一般質問をご紹介します☆

当選してからの3年半で、7回の一般質問の機会を頂きました。過去のチラシでもいくつか紹介しておりますが、今回は、北部地域の重要課題のひとつでもある「船坂地区から山口小学校への通学について」というテーマの質問をご紹介します。

「船坂地区の子供たちの通学手段を、将来的にしっかりと確保し続ける」と、西宮市に約束してもらおうことが大きな目的です。

Q 質問 船坂地区から山口小学校への通学手段確保は北部地域の重要課題のひとつですが、現在のさくらやまなみバス、阪急バスの運行状況は、土、日の通学において、8時30分の始業時刻に間に合うようになっておらず、バス会社との協議も折り合いがつかないとのことで、結局、市の共用バスなどを用いて登校手段を確保することになりました。

本来、船坂地区の子供たちは、徒歩で船坂小学校へ通学できていたものが、閉校に伴ってバス通学に変わり、さらに、土曜・休日についても状況が変わる中、地域、保護者の皆様が今後の通学手段に不安を抱かれても不思議ではありません。船坂小学校閉校時の確認に基づき、今後も引き続き通学が確保されることは絶対に必要であると考えます。以上を踏まえてお尋ねします。

1、市や教育委員会として、今後も責任を持って船坂地区からの通学手段を確保すべきと考えますが、いかがでしょうか。

2、今後、平日のさくらやまなみバスも含め、ダイヤ改正の可能性が考えられますが、教育委員会と市の関係部局が連携して対応するなど、それに対する対策はできているのでしょうか?

・市の答弁 1. 通学手段の確保について

船坂小学校は平成22年3月末に閉校となりましたが、当時の閉校に係る検討に当たりまして、船坂地区から山口小学校への通学手段については、重要な事項となっております。結果として、平日の登校にはさくらやまなみバスを、土曜・休日の登校については阪急バスをそれぞれ利用するという方法により、通学手段を確保してまいりました。

しかしながら、平成27年秋のダイヤ改正により、船坂地区の児童の一部が土曜日に開催された音楽会当日の始業時刻に間に合わないという事案が発生したため、地域や学校、教育委員会が協議を重ね、28年度及び29年度については、市の共用バスなどにより、土曜・休日の学校行事における登校手段を確保してきたところで。

ご質問の今後の通学手段の確保につきましても、船坂小学校閉校に伴うこれまでの経緯を十分に踏まえ、土曜・休日に実施される学校行事を確認しながら、必要な通学手段を確保してまいります。



2. さくらやまなみバスも含めたダイヤ改正への対応について

さくらやまなみバスは、平成21年4月に開業以来、事業の周知が進み、ここ数年は安定した乗車実績を上げているところで。また、小学生や中学・高校生が通学利用することは、将来のバス利用者の確保につながると見込まれることから、バス事業者としても十分なメリットがあるものと考えられます。こうしたことから、今後、バスのダイヤ改正が行われる場合には、教育委員会と都市局が連携し、子供たちの通学手段の確保に向けて、バス事業者と十分な協議を行ってまいります。

私の意見

ご心配のないよう取り組んでくださるとのことで、船坂の子供たち、お友達やご両親、皆安心されておられることと思います。本当にありがとうございます。

私がこの議場でこの問題を取り上げましたのは、この歴史的背景を決して忘れてほしくなかったからです。

この事実を議事録に記録として残し、30年後、60年後、もう私がこの場になくなったとしても、校長先生がかわられたとしても、担当者がかわれたとしても、バス路線が変更になったとしても、スクールバスを出すことも視野に入れて、船坂地区の通学手段を確保し続けてくださいますように切にお願いしたい、このように思うのです。どうかよろしく願いいたします。

そして、もう1点お願いいたしますことは、このことが決して子供たちの心のしこりになりませんよう、ご配慮、心配りをさせていただきますよう、よろしく願い申し上げます。

このように、記録として残すことで北部課題に対する市の対応の改善、確保が約束されました!!

西宮市議会 インターネット中継

